

## 精神科救急に携わる看護師の意見交流会

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

看護学専修 精神看護分野 修士2年

eiko616@sfc.keio.ac.jp

### 1. はじめに

近年、地域で生活をする通院患者や精神疾患を抱える人が増加し誰もが24時間365日、受けられる救急医療サービスの提供が求められている。わが国の精神科救急医療システムの歴史は浅く、ようやく1995年『精神科救急医療システム整備事業』が施策化され、精神科救急医療の充実が図られてきた。診療報酬制度では2002年に24時間救急受け入れと安全性、アメニティを重視した入院環境を特徴とする精神科救急入院料病棟(通称スーパー救急病棟)が新設された。病院にとっては病棟の新築や改築を伴う大変に高いハードルであるといわれている。その結果、医療内容ではなくて診療報酬での枠組みが精神科救急の一部を規定してしまっているのではないかという指摘がある。また、各都道府県にまんべんなく設置できるような計画はなく、この精神科救急入院料病棟の設置によって精神科救急医療が整備されたとはいえないというのが現状である(全国64か所、2009年)。一方で、この病棟では入院時の病態像、入院形式などが最も重症であること<sup>1)</sup>や隔離拘束割合が多い施設では、患者に十分なケアを行き渡らせるためにスタッフに負担がかかっている可能性がある<sup>2)</sup>といった実態が明らかになってきている。

そこで本報告書では、精神科救急入院料病棟の看護管理者に看護ケア上の課題と方策についてインタビューを実施した結果について報告する。

### 2. 意見交換会の目的

精神科救急入院料病棟の看護管理者に病棟を運営していく中での看護ケア上の課題について意見を伺い、方策を検討する。

### 3. 精神科救急入院料とは

24時間365日救急医療から退院支援まで幅広い患者層の受け入れを担う。精神科病棟の中で最も診療報酬上の点数が高い。そのための設置要件としては、措置入院患者など非自発的入院患者など6割以上受け入れ義務、時間外受診年間200件以上受け入れ義務、濃密な人員配置、半数以上が隔離室を含む個室、精神科の中では医師(16:1)看護師(2:1)が一番多く配置されている、看護補助者の配置基準はない。

### 4. 意見交換会の実施

#### (1)実施期間および対象者

- ・2009年9月-12月
- ・精神科救急入院料病棟を取得している1年以上経過している病院の病棟看護管理者4名。

## (2)対象病院

- ・ A 病院：約200床 (約60床)
- ・ B 病院：約700床 (約40床)
- ・ C 病院：約500床 (約60床)
- ・ D 病院：約300床 (約40床)

病院：病床数(精神科救急入院料病床数)

## 5. 結果

インタビューは、入院の受け入れ、ベッドコントロール、病棟の療養環境、看護師の業務、患者の対応、多職種との連携、診療報酬への要望について行った。インタビューを通して、看護師は①隔離室確保に時間を要しケア時間が不足する②重症患者に必要な療養環境が提供できない③重症患者ケアが集中し軽症患者ケアが手薄になる④入院患者の情報の把握が不十分になる⑤看護師の安全が脅かされる、という5つの課題が挙げられた。また、これらの課題に対する方策として、①患者との関わりについての振り返りや多職種でのカンファレンスを計画的に行う②夜間・休日、また隔離室を使用する患者が多い場合には看護職員を増員する③スタッフ間のコミュニケーションを積極的にとる④入院時のトリアージ能力を高めるが挙げられた。

## 6. まとめ

看護ケア上の課題は精神科救急入院料病棟の設置要件に関連しており、病院ごとに対策がとられていたが十分な改善には至っていなかった。精神科救急入院病棟は精神科では最も診療報酬が高いが、依然一般病院と比較して低い。特に夜間・休日において十分な人員配置が得られない中でケアを提供しなければならないことは救急受入れや安全管理の視点からも改善が必要であると考えられた。精神科救急の歴史は浅い。一般科救急との連携も謳われている。今後は院内での検査体制やトリアージ体制の整備、地域の特性やニーズを活かした医療の在り方を踏まえた救急の在り方を検討していく必要があるだろう。

## 7. 今後の課題

今回得られた結果をもとに、精神科救急入院料病棟の看護ケア上課題について実態を調査し、今後検討していく必要があると考える。

## 8. 謝辞

今回インタビュー実施にあたり、ご協力いただいた看護管理者の方々に感謝いたします。今回の意見交換会の実施は、2009 年度湘南藤沢学会(2)「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」支援により行われた。

### 【引用文献】

- 1) 平田豊明、精神科急性病棟群の運用実態と機能分化—平成16年度厚生労働科学研究速報—、精神科救急(8)、78-86、2006
- 2) 杉山直也、精神科救急入院料病棟における一覽性台帳を用いた行動制限の実態調査、厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業 精神保健医療における診療報酬の在り方に関する研究 分担研究報告書、73-86、2008